

事前評価個表

整理番号	24
------	----

地域（地区）名	<small>おものがわ</small> 雄物川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	秋田県	対象市町村	秋田市ほか7市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>秋田県のほぼ中央全域から南西を範囲とし、西は日本海と霊峰鳥海山があり、西は奥羽山脈を境に岩手県と宮城県、南は山形県と接しており、国有林が囲むようにある。</p> <p>森林面積は、339,711ha(森林率69%)で、うち民有林面積が190,883ha(民有林率56%)、人工林面積は97,464ha(人工林率51%)である。</p> <p>民有人工林6～12歳級の森林整備対象林が74,984haと人工林の77%を占め、うち8・9歳級の間伐の整備が必要である。しかし、木材価格の低迷、林業労働力の減少や高齢化など林業を取り巻く環境は芳しくない状況にある。この事業により、「林業振興」「秋田スギの産地づくり」を基本とし、森林の適正な整備や林業再生基盤の整備を図りながら、地域資源を活用した林業の活性化を図っていく必要がある。</p> <p>また、各市町村で森林整備事業計画や、総合発展計画等を策定し、農林水産業の振興と計画的な森林の整備を実施し、地域林業の振興を目指していく。</p> <p>本計画に基づき森林整備を実施することにより、森林の持つ公益的機能の増進を確保するとともに、健全な森林を育成する。</p> <p>これでも動植物の生息など自然環境に配慮した森林整備を行っており、今後も関係部局と連携を図りながら実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：32,974ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：8,800m 林業専用道開設</p> <p>総事業費：7,525,924千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 12.05 (総便益(B) = 155,237,901千円、総費用(C) = 12,873,332千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の有する多面的機能の発揮や安定的な林業経営等及び県産材の供給拡大の観点から、当該事業は必要である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくりによる公益的機能の確保はもとより、安定的な木材供給の面から有効である。</p> <p>森林は、多様な機能を有しているが、これらの機能は一度失うと回復に時間を要することから、適時適切な森林整備を計画的に実施することが不可欠である。</p> <p>本計画では、森林の公益的機能の発揮に配慮した計画としているほか、効率性や有効性が認められることから、本計画を実施することは適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
地域名: 雄物川

秋田県
(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	89,866,983	
	流域貯水便益	16,091,314	
	水質浄化便益	27,471,018	
山地保全便益	土砂流出防止便益	494,353	
	土砂崩壊防止便益	441,517	
環境保全便益	炭素固定便益	6,951,049	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	32,056	
	木材利用増進便益	4,656	
	木材生産確保・増進便益	13,528,386	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	29,682	
	森林整備促進便益	326,887	
総 便 益 (B)		155,237,901	
総 費 用 (C)		12,873,332	
費用便益比	$B \div C = \frac{155,237,901}{12,873,332} = 12.05$		

森林環境保全整備事業 雄物川流域（秋田県）概要図

